



【先週 6月30日～7月6日の外食の出来事】

■壱番屋、第1四半期(2019年3月～5月)の連結業績 増収増益

壱番屋の2020年2月期 第1四半期の連結業績は売上高127億5600万円(対前年同期比3.9%増)、経常利益15億8500万円(同38.7%増)、四半期純利益10億6700万円(同27.4%増)と増収増益を確保した。

■テナアライド、3代目に代表権付与。事業承継着々。

居酒屋チェーン「天狗」は1969年に飯田 保氏が創業。現社長の飯田 永太氏はその長男。さらには、孫の健太氏が事業承継するようだ。同社は創業50年を迎え、100年企業を目指している。

■あみやき亭、第1四半期(2019年4月～6月)の連結業績 増収減益

あみやき亭の2020年3月期 第1四半期の連結業績は売上高80億300万円(対前年同期比1.3%増)、経常利益6億4000万円(同19.5%減)、四半期純利益4億300万円(同21.9%減)であった。

■大戸屋、ベトナム2号店オープン 直営路線に転換

大戸屋が、7月4日(木)、ホーチミン市に、大戸屋の2号店、直営での新規店舗としては1号店となる、ビテクスコタワー店をオープンさせる。今後は、直営事業として、まずは5店舗を目標にベトナムで出店する計画。

■餃子の王将、既存店7ヶ月連続プラス

「餃子の王将」の既存店では2019年6月、客数3.5%増、客単価1.6%増で、売上高5.5%増となった。2018年12月以降、7ヶ月連続でプラスとなった。全店売上高は7.5%増となり、25か月連続でプラス。

■くら寿司、台湾で上場準備 子会社が米国で上場申請

くら寿司が台湾で子会社の上場に向けた準備を進めていることが4日分かった。同日、米子会社の「くら寿司USA」が米ナスダック市場への上場を米証券取引委員会(SEC)に申請したと発表したが、これに続く。

■エー・ピーカンパニー、全外食業態でプラスチックストローの使用を廃止

エー・ピーカンパニーは、「塚田農場」など同社が運営する国内すべての外食業態において、1日より順次プラスチックストローの提供を取り止めると発表した。各店には紙ストローを用意し、要望に応じて提供する。

■アトム、グループ店舗でスマホ決済サービス「d払い」「LINE Pay」を導入

アトムとアトム北海道は、「ステーキ宮」「にぎりの徳兵衛」など22ブランド460店舗にて、NTTドコモが提供するスマホ決済サービス「d払い」(街のお店)と、LINEが提供するスマホ決済サービス「LINE Pay」を7月1日に導入した。

■コロワイド、グループ店舗でスマホ決済サービス「d払い」「LINE Pay」を導入

コロワイドは、「牛角」「フレッシュネスバーガー」「かっぱ寿司」など、グループが運営する2449店舗にて、ドコモが提供するスマホ決済サービス「d払い」と、LINEが提供するスマホ決済サービス「LINE Pay」を7月1日に導入した。